

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 第13週 > 風しんの定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 風しん >

第13週の定点当たり報告数は、感染症法施行(1999年4月)以降の最高値である



病原体情報
P.5-6

患者から分離・検出された病原体報告 - 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン / インフルエンザウイルス 2003/04シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.7

< 今週は該当記事はありません >



感染症の話
P.8-11

< E型肝炎 >

経口伝播型非A非B型肝炎とよばれてきたウイルス性の急性肝炎で、その病原体はE型肝炎ウイルス(HEV)である



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(13週)
P.12-18



13週のデータ
P.19-28



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)

第13週コメント 4月2日集計分

全数報告の感染症

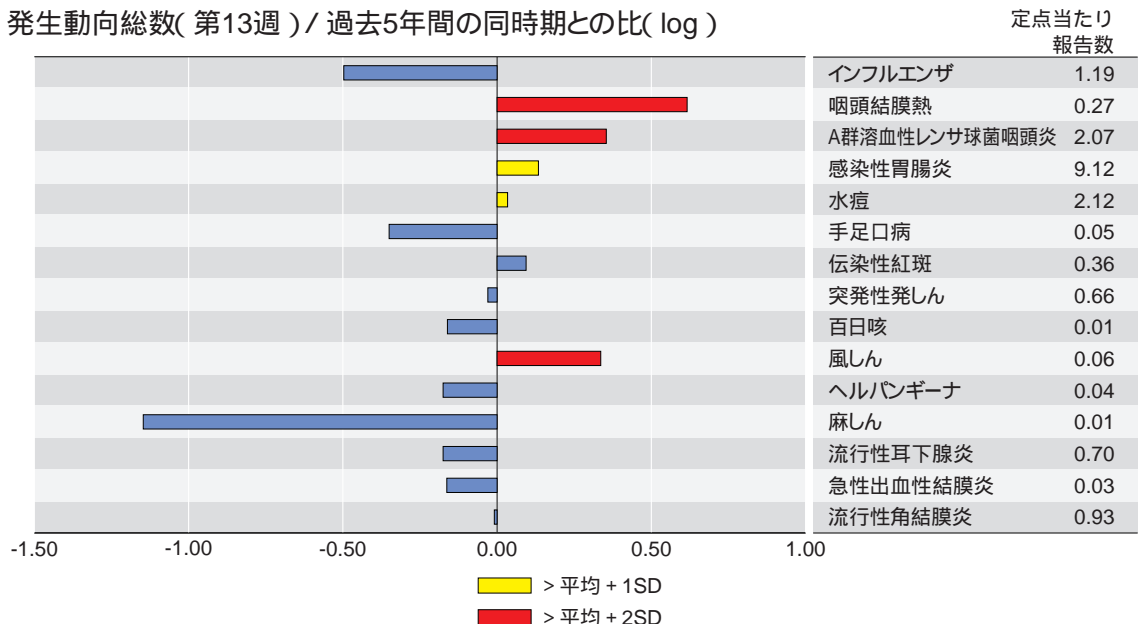
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 9例(推定感染地域: 国内1例、インド6例、インドネシア1例、不明1例)
腸チフス 1例(推定感染地域: インド)
パラチフス 3例(推定感染地域: 中国1例、インドネシア1例、カンボジア/タイ1例)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 17例(うち有症者10例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(5例)、O157 VT3(3例)、O157 VT1(1例)、O26 VT1(1例)、O128 VT1・VT2(1例)、その他(6例)
年齢: 10歳未満(5例)、10代(1例)、20代(5例)、40代(2例)、50代(3例)、70代(1例)
 - 4類感染症: つつが虫病 2例(宮崎県1例、鹿児島県1例)
マラリア 1例(三日熱が主体で、熱帯熱も混合感染__推定感染地域: バヌアツ)
ライム病 1例(推定感染地域: 国内)
A型肝炎 3例(推定感染地域: 国内2例、不明1例)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 7例(推定感染地域: 国内4例、台湾1例、パキスタン1例、不明1例)
ウイルス性肝炎 2例 B型 1例(推定感染経路: 不明)
EBウイルス 1例
クロイツフェルト・ヤコブ病 3例(いずれも孤発性)
後天性免疫不全症候群 4例(無症候3例、AIDS 1例)
推定感染経路: いずれも同性間性的接触
推定感染地域: いずれも国内
梅毒 4例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、無症候1例)
- (補)10週分の報告遅れとして急性脳炎(病原体: ヘルペスウイルス . 71歳)の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第13週) / 過去5年間の同時期との比(log)



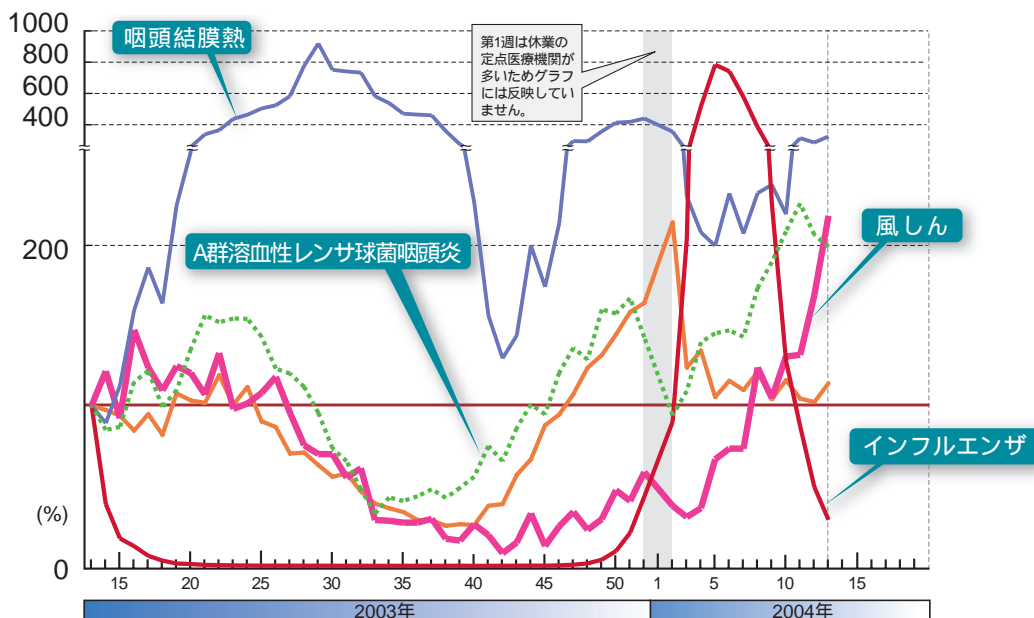
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

インフルエンザ定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は第5週をピークに減少し、第13週も減少した。都道府県別では大分県(5.7)、北海道(3.4)、福井県(3.4)、山口県(3.2)が多い。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、夏季の流行の後、2003年第43週から再び増加傾向が認められ、第52週をピークに減少した。2004年第3週からはほぼ横ばいで推移した後、第11週は増加、第12週は減少し、第13週は増加した。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では宮崎県(1.3)、富山県(1.1)、鳥取県(1.0)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2003年第51週をピークに減少したが、第3週から再び増加傾向が認められた。第8週からは過去10年間で最高の値を更新し続けたが、第11週をピークに減少し、第13週も減少した。都道府県別では新潟県(7.4)、富山県(5.9)、山形県(5.4)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では大分県(17.7)、佐賀県(16.5)、福井県(15.9)が多い。水痘の定点当たり報告数は第2週に過去10年間で最高の値となった後減少し、第5週からは週により増減はあるがほぼ横ばいで推移している。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では鹿児島県(4.8)、宮崎県(4.5)、佐賀県(4.2)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第9週から緩やかに増加しており、第13週も増加した。都道府県別では新潟県(1.7)、山形県(1.2)が多い。風しんの定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では群馬県(0.6)、鹿児島県(0.5)、大分県(0.4)が多い(「注目すべき感染症」参照)。RSウイルス感染症の報告数は35都道府県から合計76例であった。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少して0.14で、都道府県別では岡山県(0.8)、山形県(0.7)、茨城県(0.7)が多い。

主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第13週)



2003年第13週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。



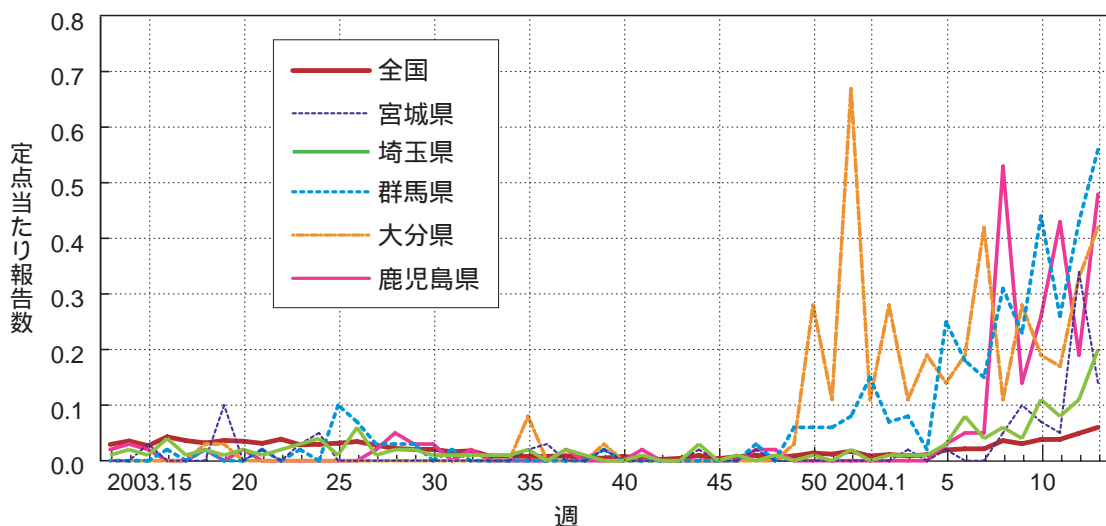
注目すべき感染症

風しん

2003年9月まで風しん予防接種の経過措置のキャンペーンなども行われており、ここ数年、小児科定点から報告される全国の風しん患者数は、以前よりかなり少なく推移している。しかしながら、本年の定点当たり報告数を都道府県別にみると、群馬県、大分県、鹿児島県など報告数の多い都道府県もあり、第12週では宮城県で、第13週では埼玉県でも報告が増加してきている(図)。これらの増加に伴って全国値も増加してきており、第13週の定点当たり報告数は、感染症法施行(1999年4月)以降の最高値である。また、患者の年齢群を比較してみると、本年は昨年に比べて、学童期や20歳以上の割合が非常に多くなっている。これらの報告は小児科定点からの報告であるので、成人の風しんがより多い可能性もあり、予断を許さない。

風しんはワクチンで予防できる疾患であり、経過措置終了後の現在も、定期接種の対象者だけでなく、当時の経過措置の対象年齢層を中心に、免疫のない人達への任意接種の普及啓発が大切である。また、今年に入ってこれまでに2例の報告があった「先天性風しん症候群」の予防のためには、小児科ばかりでなく、特に妊婦や妊娠年齢の女性の管理を行う産科や婦人科においても、地域での風しんの流行状況などに細心の注意を払っていく必要がある。

図．風しんの週別報告数(2003年第13週～2004年第13週)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年4月2日現在報告分)

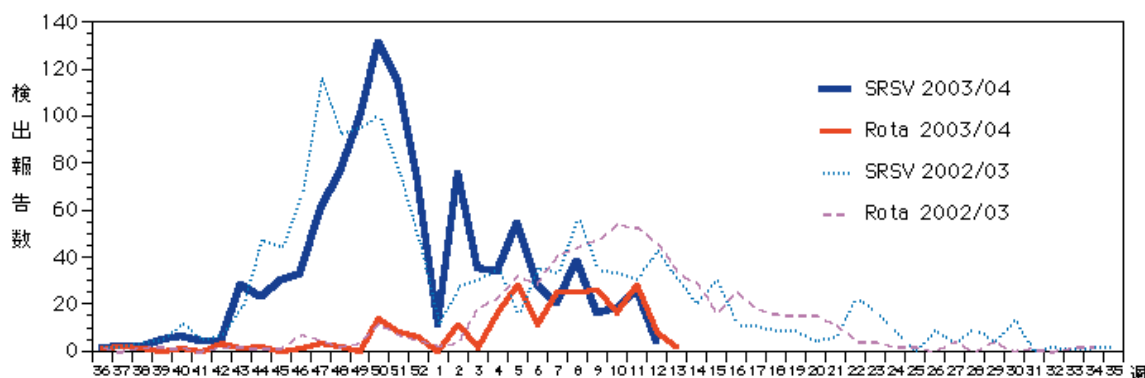
冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン

ロタウイルスは、昨シーズン(2002/03シーズン)と同様に第50週に小さなピーク(14件)を形成した後、2004年第4週から増加し始めている。第7週から第13週までの検出数は25、25、26、16、28、8、2である。報告のほとんどはA群で、これまでにA群は26都府県から計237件報告されている。このうち岡山県で検出された1件の血清型はG3であった。地域別では高知県35、香川県33、大阪府20、奈良県19、東京都18、滋賀県18など、四国、近畿地方からの報告が多い。この他に群不明が9件(福岡県3、東京都2、宮城県、愛媛県、三重県、和歌山県各1)報告されている。ほとんどが5歳以下の小児からの検出である。

小型球形ウイルス(SRSV)は、第50週を最大のピーク(131件)として、年明け以降はいくつかのピークを形成しながら減少している。第7週以降はロタウイルスとほぼ同数の報告である。報告のほとんどはノロウイルスgenogroup(G)IIであり、ノロウイルスGIIはこれまでに32都府県から計814件報告されている。ノロウイルスGIIは13都府県から41件の報告で、秋田県11、山口県8からの報告が多い。サポウイルスの報告は28件で、ほとんどが第52週までの愛媛県(20件)からの報告であり、年明け以降の報告は第5週に検出された大阪府の1件のみである。この他に、ノロウイルスG不明が137件、電顕のみによる検出が19件報告されている。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2002/03、2003/04シーズン

(病原微生物検出情報: 2004年4月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

インフルエンザウイルス 2003/04シーズン

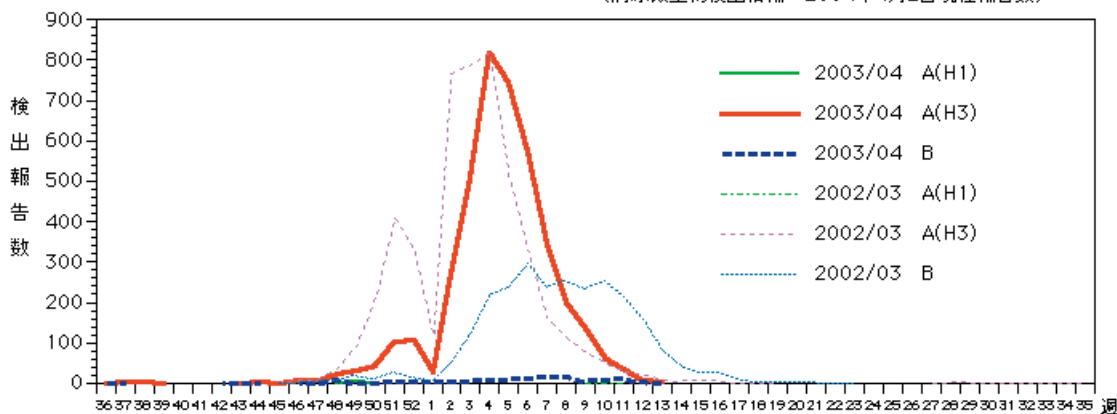
AH3型ウイルスの分離・検出報告がほとんどで、計4,046件(PCRのみの検出32件を含む)が報告されている。このうちN型別された291件はすべてN2であった。今シーズンは、昨シーズン(2002/03シーズン)に比べて2004年第1週まではさほど分離・検出数は多くなかったが、第2週以後大きく増加し、昨シーズンと同時期の第4週にピーク(819件)を示している。第5週以降は減少し、第7週から第13週までの分離・検出数は343、197、136、62、34、8、3である。新たに和歌山県、鳥取県からも分離が報告され、これまでに全国46都道府県から分離・検出が報告されている。

B型ウイルスの分離・検出報告は計109件(PCRのみの検出1件を含む)で、新たに宮城県、鳥取県から各1件の分離報告があり、これまでに全国32道府県から報告されている。第47週以降は少ないながらも毎週分離されており、第7週から第13週までの週別分離・検出数は15、17、2、7、11、5、1である。北海道23、静岡県15、福井県9、兵庫県、福岡県各7などからの報告が多い。

AH1型ウイルスの分離報告は計3件で、第49週に分離された長野県の1件(IDWR2003年第51号速報記事参照)と、埼玉県で分離された2件(第49週、第50週各1)の報告である。N型別された長野県の1件と埼玉県の2件中1件はともにN1であった。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2003/04シーズン

(病原微生物検出情報：2004年4月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



海外感染症情報

今週はお休みさせていただきます。
海外感染症情報については、
FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)
でご覧いただけます。



感染症の話

E型肝炎

E型肝炎は、従来、経口伝播型非A非B型肝炎とよばれてきたウイルス性の急性肝炎で、その病原体はE型肝炎ウイルス(HEV)である。E型肝炎の致死率はA型肝炎の10倍といわれ、妊婦では実に20%に達することがある。また、日本、ヨーロッパ諸国、北米大陸においては非A非B型肝炎といえばC型肝炎を意味するが、発展途上国では事情が異なり、大部分はE型肝炎であるといわれる。E型肝炎はアメリカ、日本、ヨーロッパ等の先進各国では散発的に発生し、その大半は輸入感染症と考えられてきた。しかし最近、アメリカ、日本において全く渡航歴の無いE型急性肝炎患者が見つかるようになってきたことから、従来、非流行地と思われる地域にもHEVは既に土着していると考えられる。

疫学

HEVはアジアにおける流行性肝炎の重要な病因ウイルスである。中央アジアでは、E型肝炎はA型肝炎と同じく秋にピークに達するが、東南アジアでは雨期に、特に広い範囲の洪水の後に発生する。伝播は糞口経路で、主に水系感染である。1955年、ニューデリーで共通感染源による流行が発生したが、これは飲用上水の糞便汚染が原因であった。この流行では、黄疸性肝炎と診断された症例だけでも29,000人に及んだ。これに似た水系感染流行がインド、中央アジア、中国、北アフリカ、メキシコなどでも報告されている。

E型肝炎の多発地域でのIgG抗体保有率は通常80%以上である。一方、E型肝炎の非流行地域と考えられている日本で、900人の健常人のIgG抗体保有率をELISA法で調べたところ、地域間に抗体保有率の差が見られたが、平均抗体保有率は5.4%であった。ヒト以外の動物では、アメリカをはじめ、日本、台湾、中国、韓国、インド、ネパール、カナダ、オーストラリア、スペインなどの国々の豚から血中HEV抗体が検出されている。豚以外の動物では鶏、犬、ラット、牛、羊、山羊、ニホンザルなどでやはり血中HEV抗体が報告されており、多くの動物がHEVに暴露されている可能性がある。一方、HEV遺伝子が検出されたのは豚、ラット、それにシカだけである。現在、HEVにはG1からG4まで4つの遺伝子型が報告されているが、理由は不明であるが、豚から検出された遺伝子型はG3とG4だけである。

感染実験では、種を超えてHEVの感染が成立するとの報告がいくつかある。G3とG4のヒト由来HEVをブタに静脈注射すると、臨床的には無症状に経過するが、肝組織は明らかな肝炎を呈し、血液、肝臓などの組織からHEVの遺伝子が検出される。ヒトHEVに対する抗体も急速に上昇する。このことから、ヒトHEVがブタで複製することが示唆されている。興味深いことに、G1とG2のHEVでは感染が成立しない。つまり、遺伝子型によって、HEVの宿主に対する感受性が異なることが推測される。ブタ由来のHEVがヒトに感染するかどうかはまだ明らかではないが、ブタ由来のHEVを接種したアカゲザルではウイルス血症がおこり、便にウイルスが排泄される。

わが国でも、イノシシの生レバーの摂食が原因と見られる急性型肝炎での死亡例が報告されるなど、これまでに動物由来のHEVがヒトに感染することを間接的に証明する症例がいくつか報告されている。市販の豚レバーを調べた結果、1.9%からHEV遺伝子が検出され、さらに10人のE型肝炎患者について豚レバーの摂取歴を調べたところ、発症の2～8週間前に9人の患者が生豚レバー、あるいは加熱不十分の豚レバーを食べたことがあると答えている。また、野

生のシカ肉を生で食べた4人がE型肝炎を発症したことが報告され、患者血清と残存したシカ肉から、ほぼ同じ配列を持つG3の遺伝子が検出されている。これは、動物からヒトに感染することが直接証明された初めて症例でもある。このように、E型肝炎が人獣共感染症である可能性が強く示唆されている。しかし、シカの抗体保有率やHEV保有状況などはまったく把握されておらず、感染状態は依然として不透明である。

病原体

HEVは直径約38nmのエンベロープを持たない小型球形のウイルスで、内部に約7.2Kbのプラス一本鎖RNAを遺伝子として持っている。形態学的にはノロウイルスに類似し、かつてカリシウイルス科に分類されていた。しかし、ウイルス遺伝子上のウイルス蛋白の配置、特に非構造蛋白の機能ドメインの配置がカリシウイルスとは全く異なることが明らかになり、2002年の国際ウイルス命名委員会では一時的に、「E型肝炎様ウイルス属(“Hepatitis E-like viruses”; 一時的な命名であるので、ダブルクォーテーションでくられる)に分類されている(<http://www.ictvdb.iacr.ac.uk/ictv/fr-fst-g.htm>)。

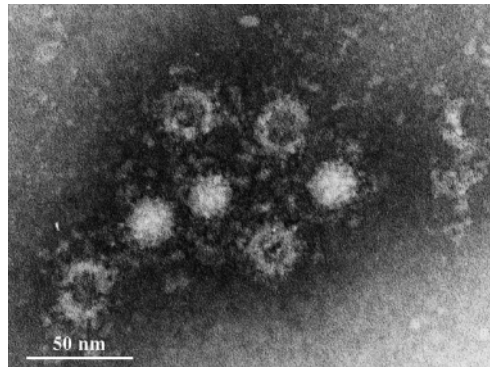


図1. HEV粒子の電子顕微鏡像
直径は約38nmである。この図では抗体によってウイルス粒子が凝集しているようにみえる。

HEVが効率よく増殖する培養細胞系は確立されておらず、その複製機構はあきらかではない。チンパンジー、タマリン、ミドリザルのほか、アカゲザル、カニクイザルなどが感受性を示す。これら感染サル胆汁中には多量のウイルスが排泄され、研究の出発材料として有用である。精製ウイルスの塩化セシウム平衡密度勾配遠心法での比重は1.35g/cm³、蔗糖密度勾配遠心法での沈降定数は176s～183sである。図1に感染サルの胆汁中にみられたウイルス粒子を示す。

臨床症状

他の肝炎ウイルス同様、HEVにとって肝臓が主たるターゲット器官と考えられる。E型肝炎の臨床症状はA型肝炎と似ている(図2)。潜伏期間は15～50日、平均6週間で、これは平均4週間といわれるHAV感染の潜伏期に比べ、やや長い。ボランティアに糞便材料を経口投与した実験では、投与後約5週間で発症が見られている。悪心、食欲不振、腹痛等の消化器症状を伴う急性肝炎を呈する。症状としては、褐色尿を伴った強い黄疸が急激に出現し、これが12～15日間続いた後、通常発症から1カ月を経て完治する。黄疸に先立ってウイルス血症が出現し、ウイルスは便へも排泄される。A型肝炎と同様、E型肝炎は慢性化しないが、稀にIgM抗体が長時間

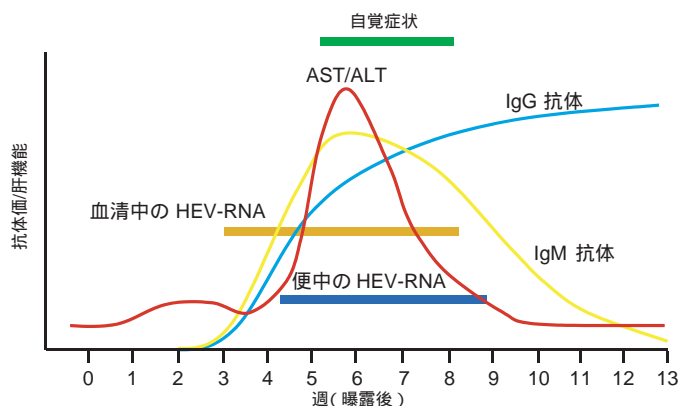


図2. E型肝炎の典型的な臨床経過

持続したり、便中への排泄を伴って長期間ウイルス血症状態が続く例も見られる。

E型肝炎の特徴の一つとして、妊婦で劇症肝炎の割合が高く、致死率が20%にも達することがある。母子感染に関してははっきり分かっていないが、治癒した妊婦の胎児発育には影響がないとする報告がある。HEV感染による致死率は1～2%であるが、これもHAVに比べ10倍の高さである。E型肝炎の罹患率は、大流行でも散発例でも青年と大人(15～40歳)で高い。小児における不顕性感染はA型肝炎と比べて低く、対照的である。E型肝炎での肝臓の病理所見は、急性期の組織学的病変を示す。胆汁うっ滞性の肝炎像は一つの特徴である。

病原診断

各遺伝子型間でよく保存される領域の塩基配列に基づいて、共通のプライマーを設計し、これを用いたRT-PCRで遺伝子増幅が可能になっている。使われるプライマー、増幅領域は各研究グループで異なっているが、よく使われる領域はORF1のN末端の500塩基、およびORF2の中間部分500塩基である。通常、患者血清と糞便が検査材料として使われる。サンプルの採集時期によってRNAの検出率は異なるが、RNAの検出期間は発症後の2週間程度と考えられる。しかし、発症1カ月後に検出されたケースも報告されている。増幅される領域の塩基配列を系統解析することによって遺伝子型を同定できるので、ウイルスの感染源の手がかりにもなる。ただし、HEVの遺伝子はRNAであるため、検出感度はサンプルの保存条件などに左右される。また、操作中のコンタミにも十分な注意を払う必要がある。

肝炎を発症した時点で、HEVに対する特異的な血中IgM抗体が大量に産生されるので、診断にはこのIgM抗体の検出が迅速、かつ最も確実である。抗原には組換えバキュロウイルスで作製した、平均密度1.285g/cm³、直径約23～24nmの中空粒子を用いる(図3)。この粒子を用いたELISAによって、急性期の患者血清と感染サル血清からHEVに特異的なIgMとIgG抗体を、回復期の患者血清と感染サル血清からIgG抗体を検出することができる。また、この粒子を免疫原として作製した高力価血清を用いて、患者糞便からHEV抗原を特異的に検出するELISAも開発されている。したがって、この中空粒子は、ネイティブな粒子に近い抗原性と免疫原性を持つ粒子であることも明らかになった。海外ではAbott、Gene Labなどから診断薬が販売されているが、わが国へは輸入されていない。上記の中空粒子を用いたELISAは市販されていないが、血清診断は下記で行政検査として受け付けている。

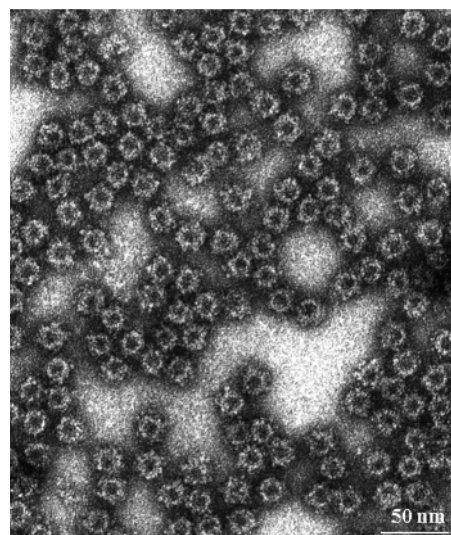


図3. HEVのウイルス様中空粒子(VLP)

組換えバキュロウイルスでウイルス構造蛋白(ORF2)を発現することによって、この粒子を無限に産生することができる。直径は約24nmである。

【連絡先】

国立感染症研究所 ウイルス第二部第一室
 〒208-0011 東京都武蔵村山市学園4-7-1
 電話: 042-561-0771(内線357)
 ファクス: 042-561-4729、あるいは042-565-3315
 電子メール: ntakeda@nih.go.jp

治療・予防

治療としては、他の急性肝炎と同様に対症療法のみである。劇症肝炎に対しては、血漿交換などによる治療が必要となる。一般的な予防としてはA型肝炎と同様に、汚染地域と考えられる地域に旅行する場合に、飲料水、食物に注意し、基本的には加熱したもののみを摂取するように心がける。ワクチンはまだ開発されていない。

感染症法における取り扱い

平成15年11月に感染症法が改正され、従来の「急性ウイルス性肝炎」は4類感染症の「E型肝炎」、「A型肝炎」、および5類感染症の「ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)」に分けられた。「E型肝炎」を診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

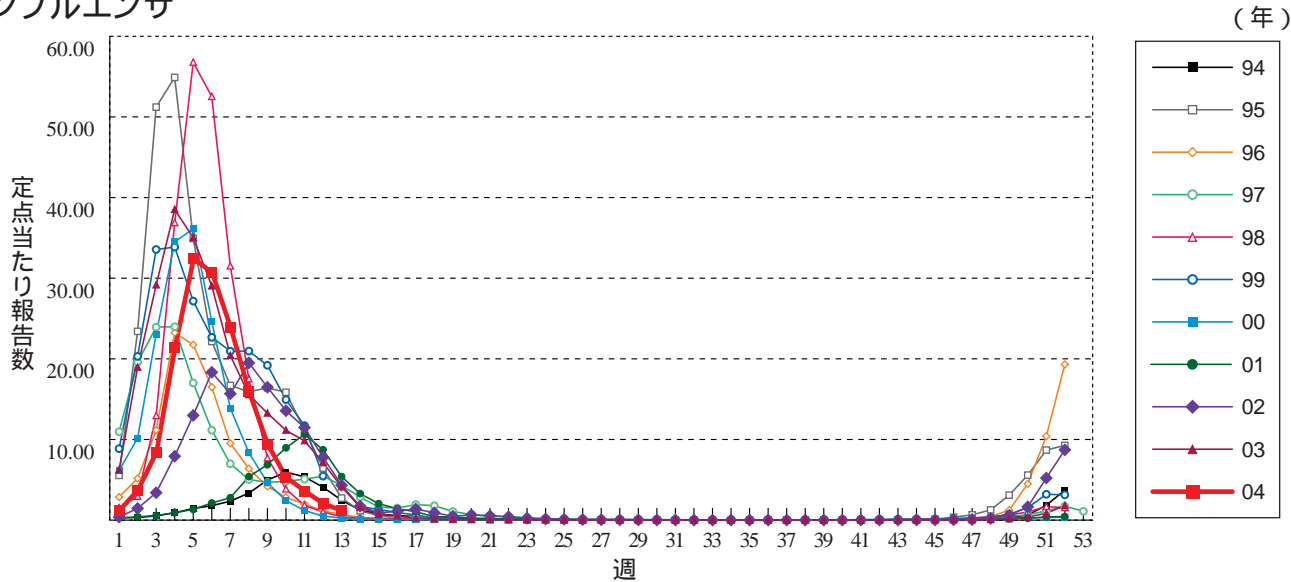
診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の遺伝子の検出
例、RT-PCR法による遺伝子の検出
- ・血清抗体の検出
例、特異的IgM抗体が陽性のもの

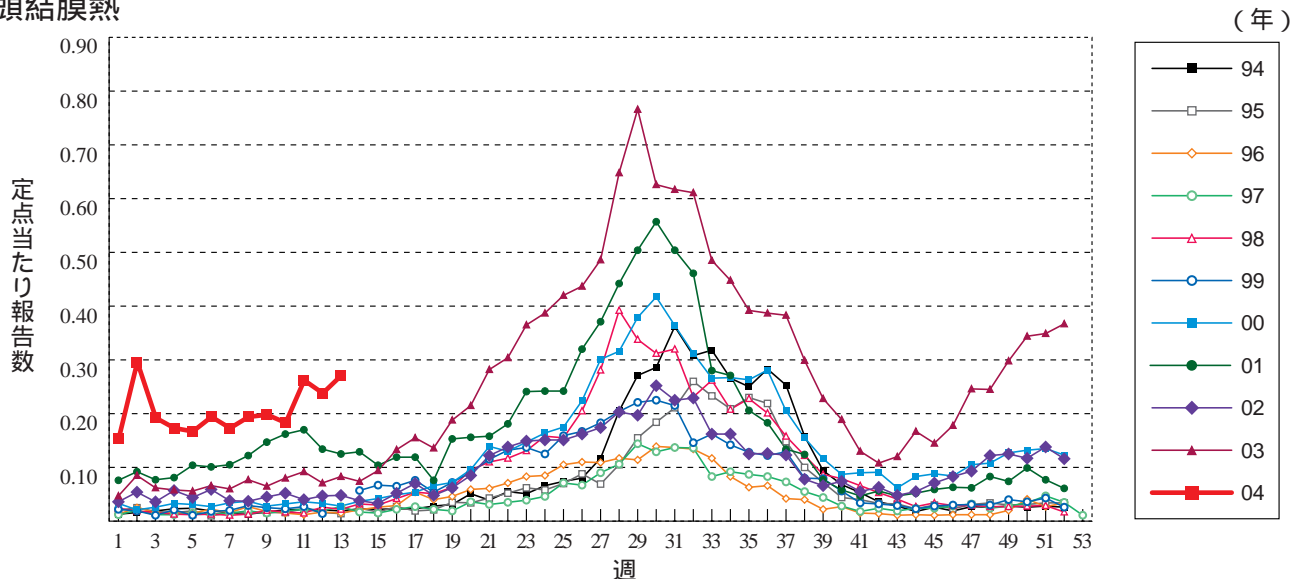
(国立感染症研究所ウイルス第二部 武田直和)

グラフ総覧(13週)

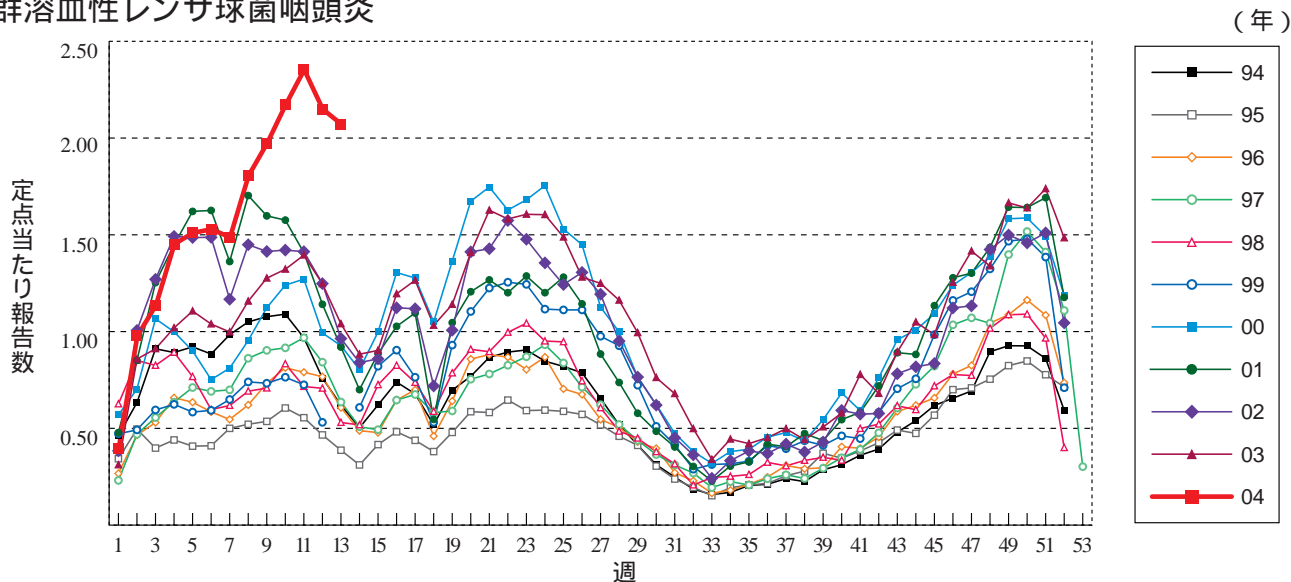
インフルエンザ



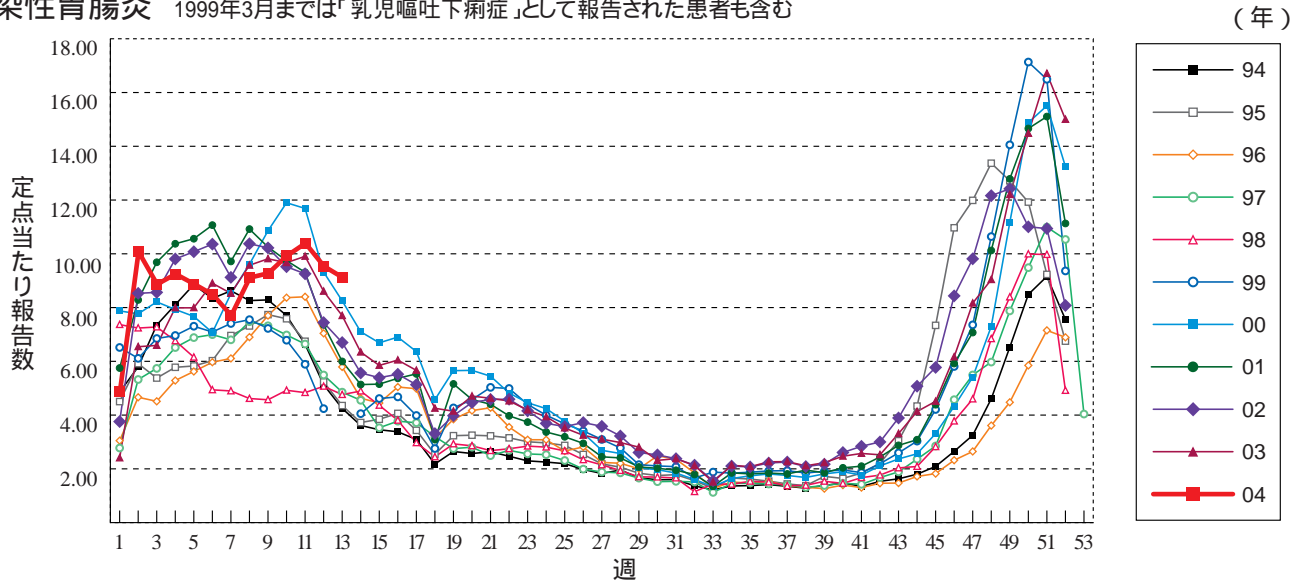
咽頭結膜熱



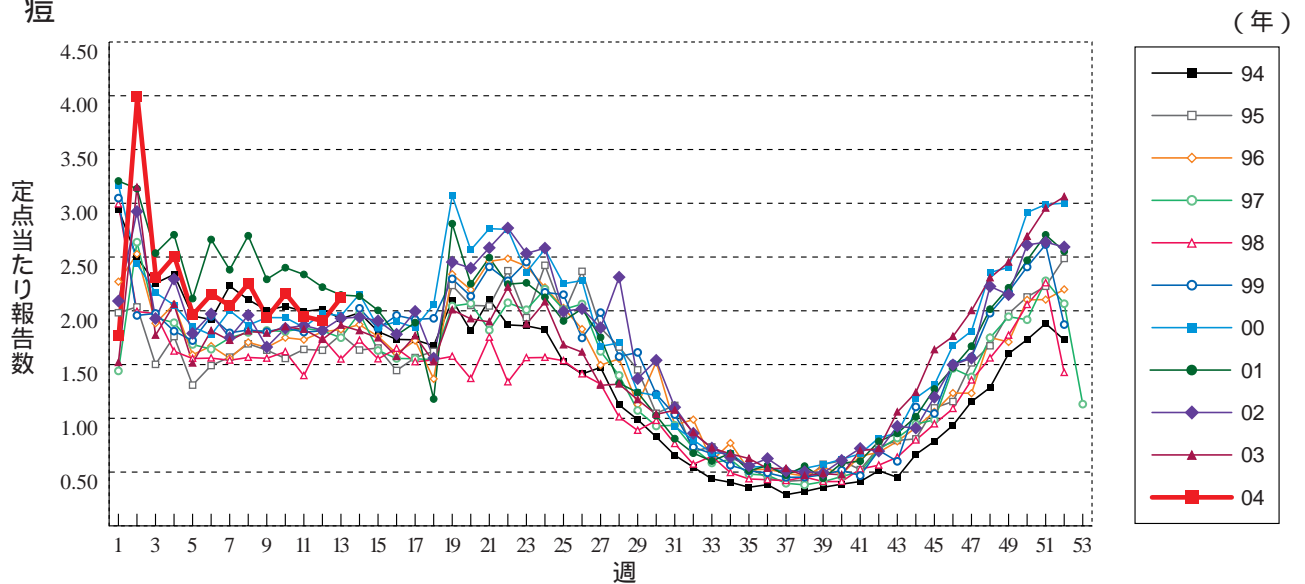
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



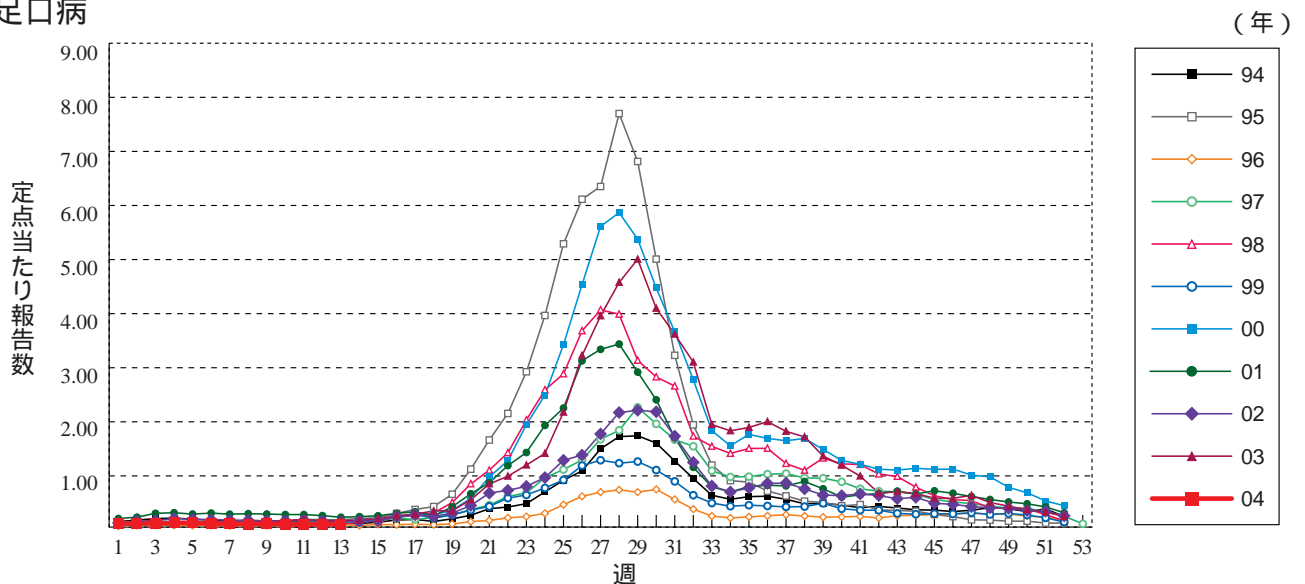
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



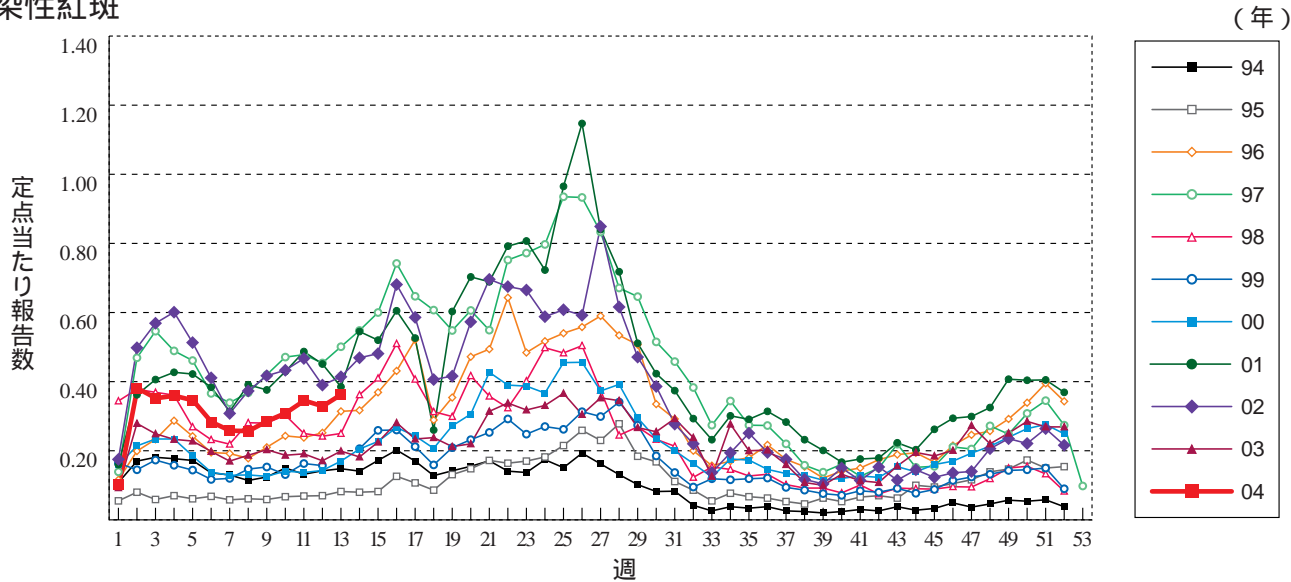
水痘



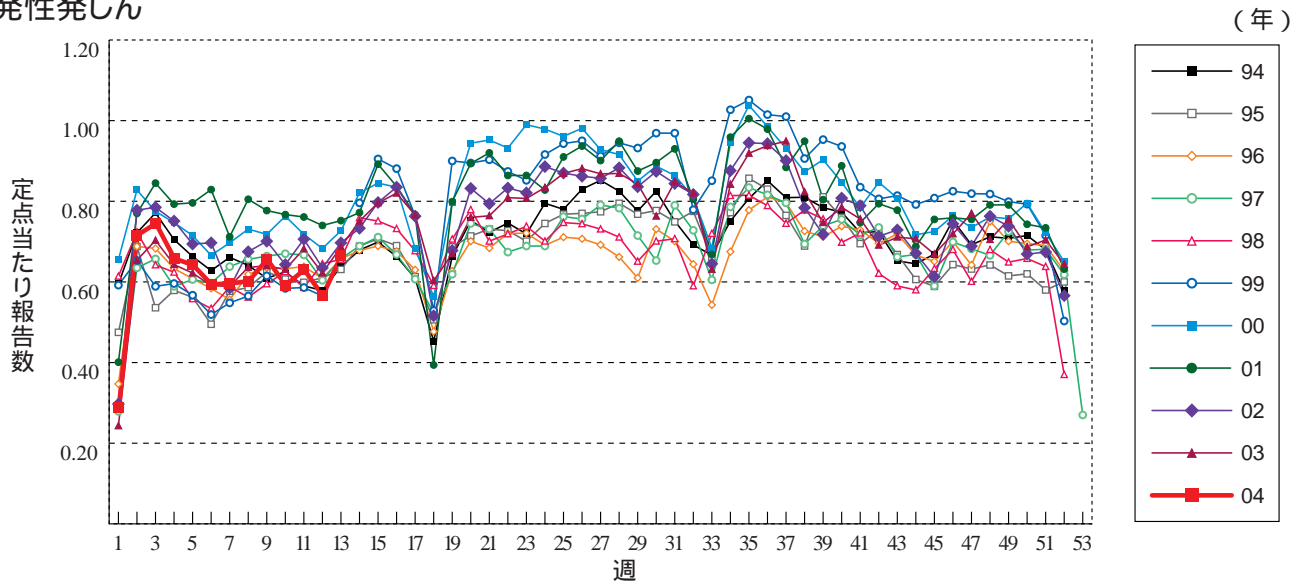
手足口病



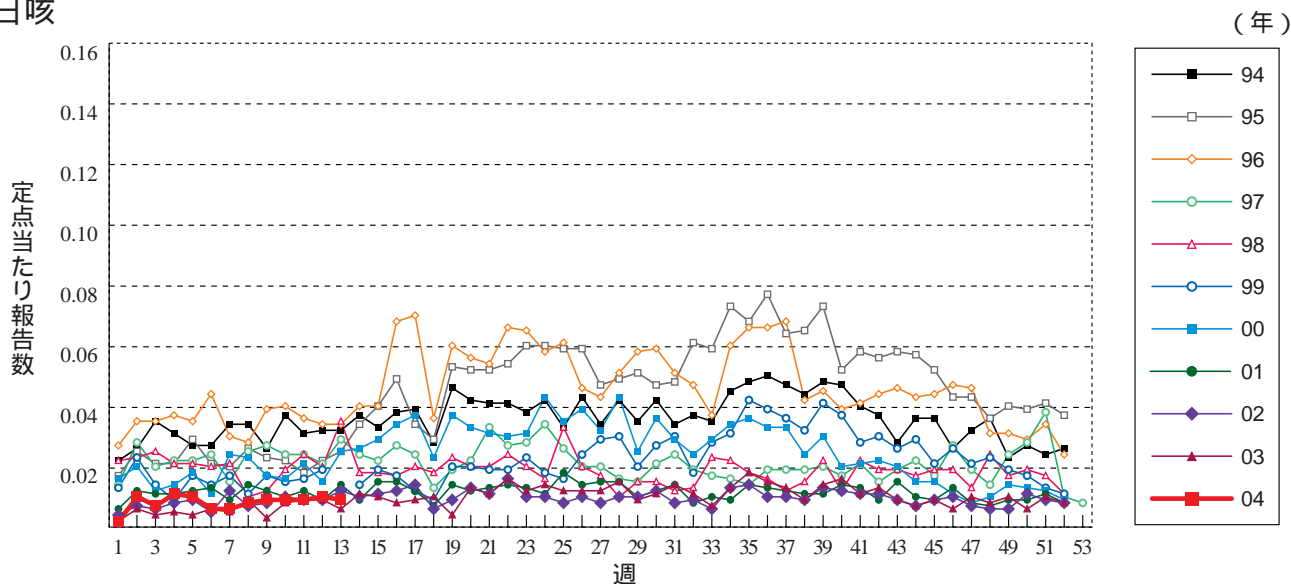
伝染性紅斑



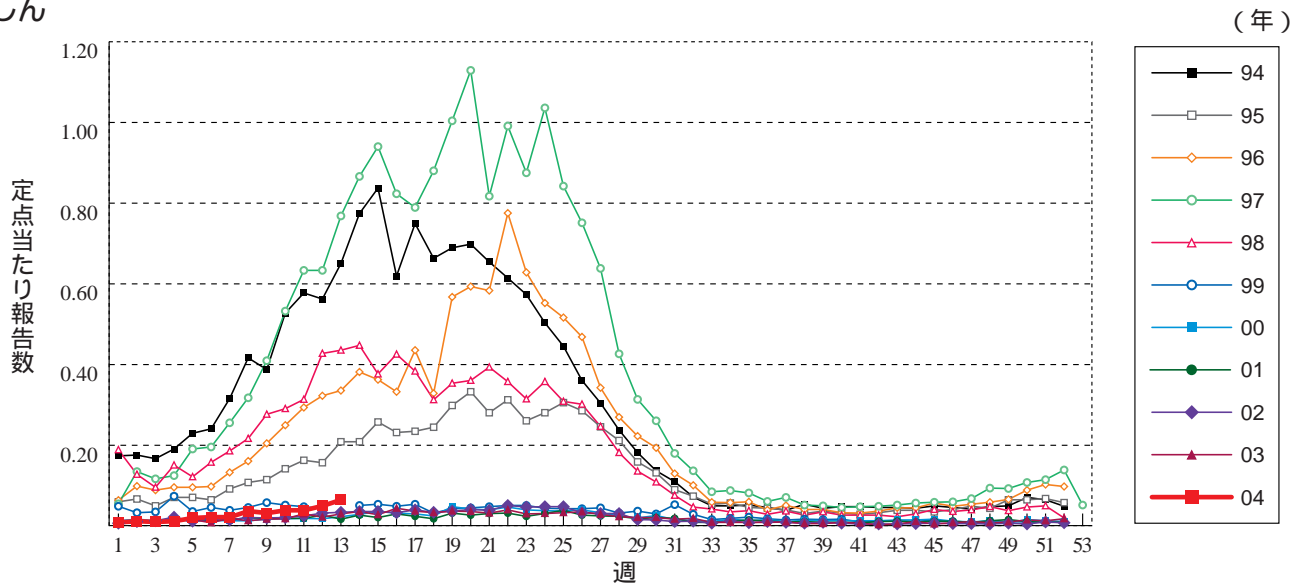
突発性発しん



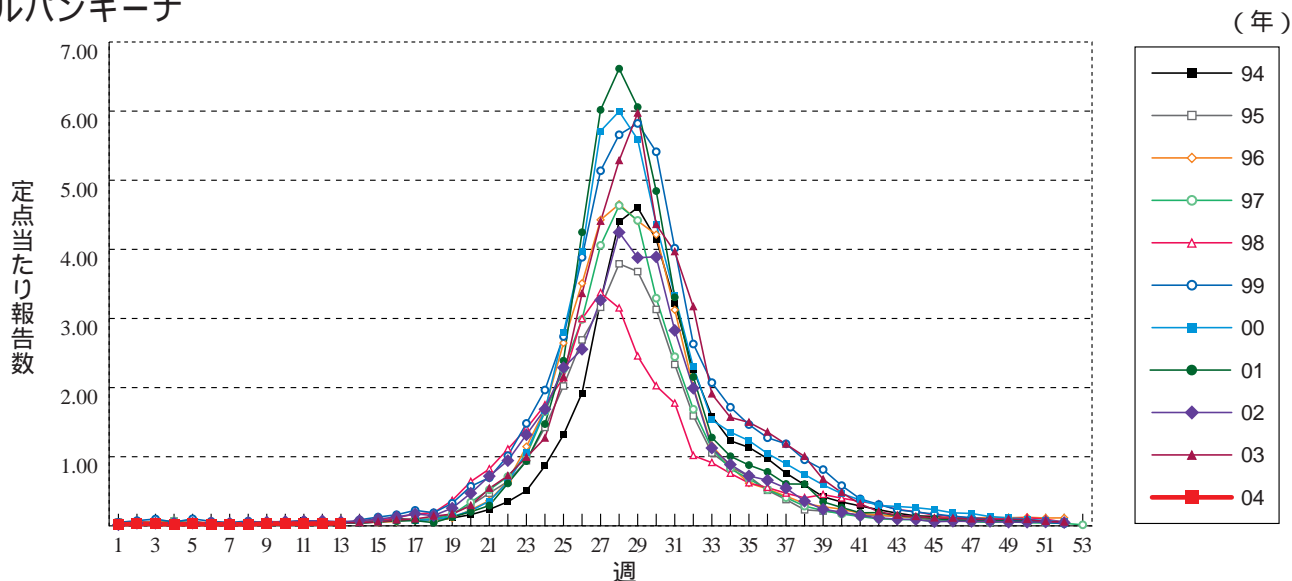
百日咳



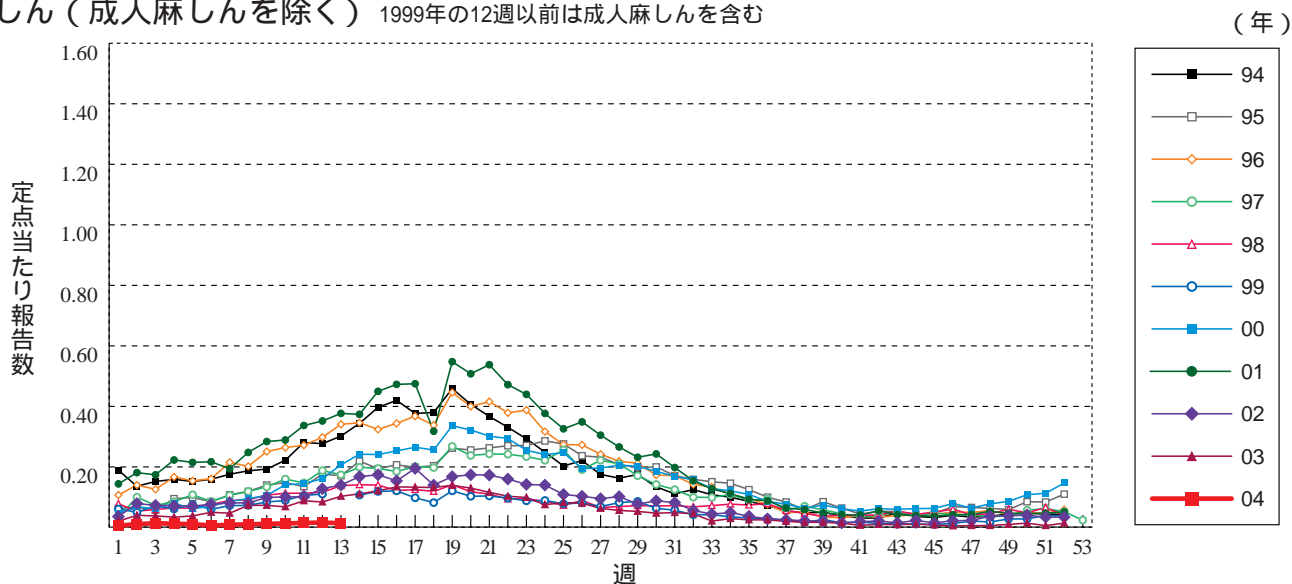
風しん



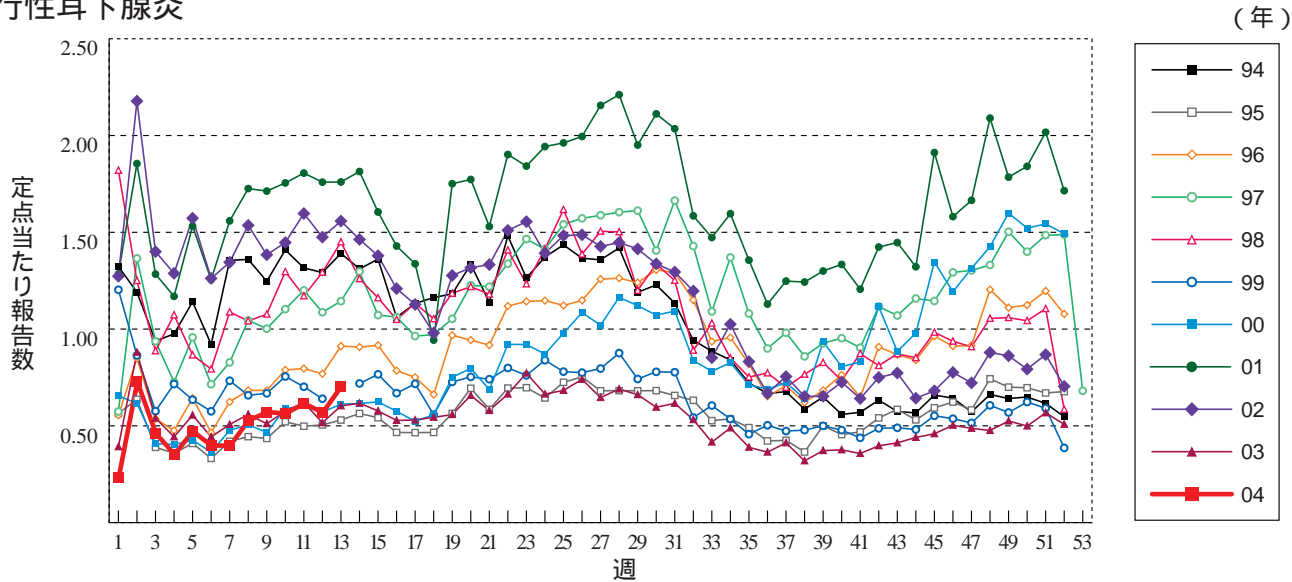
ヘルパンギーナ



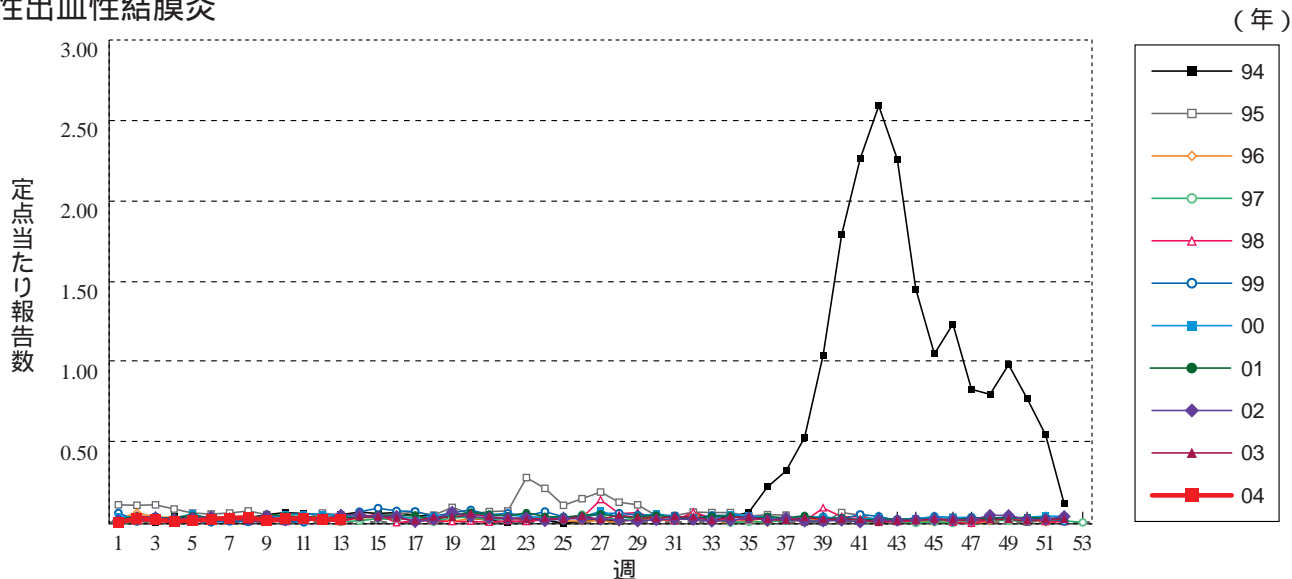
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



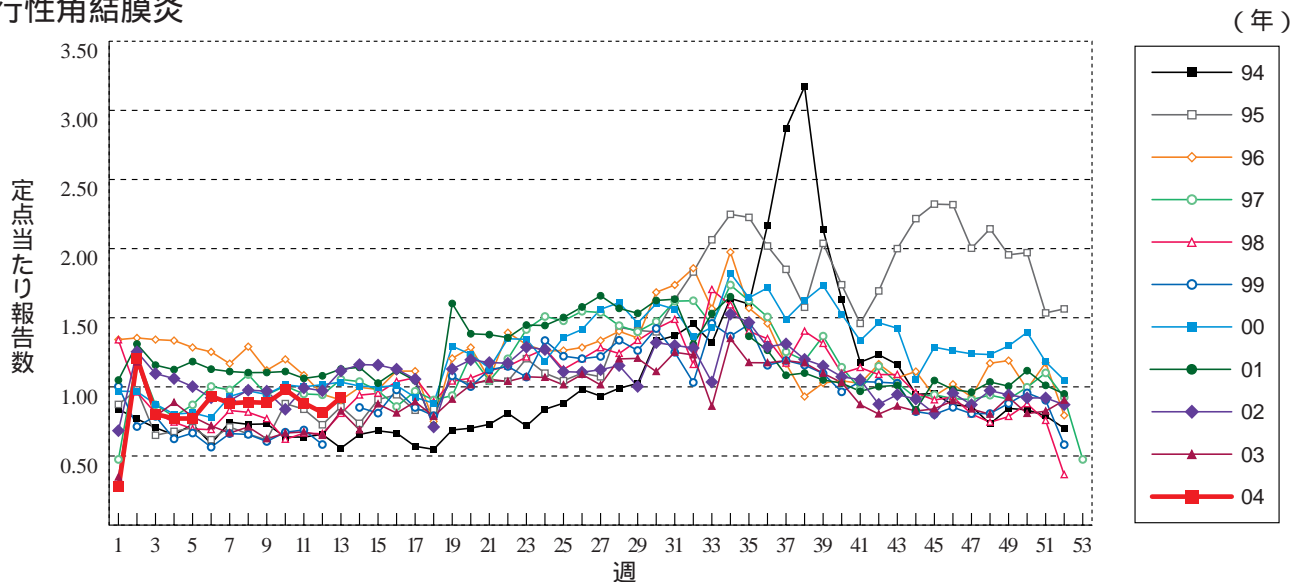
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

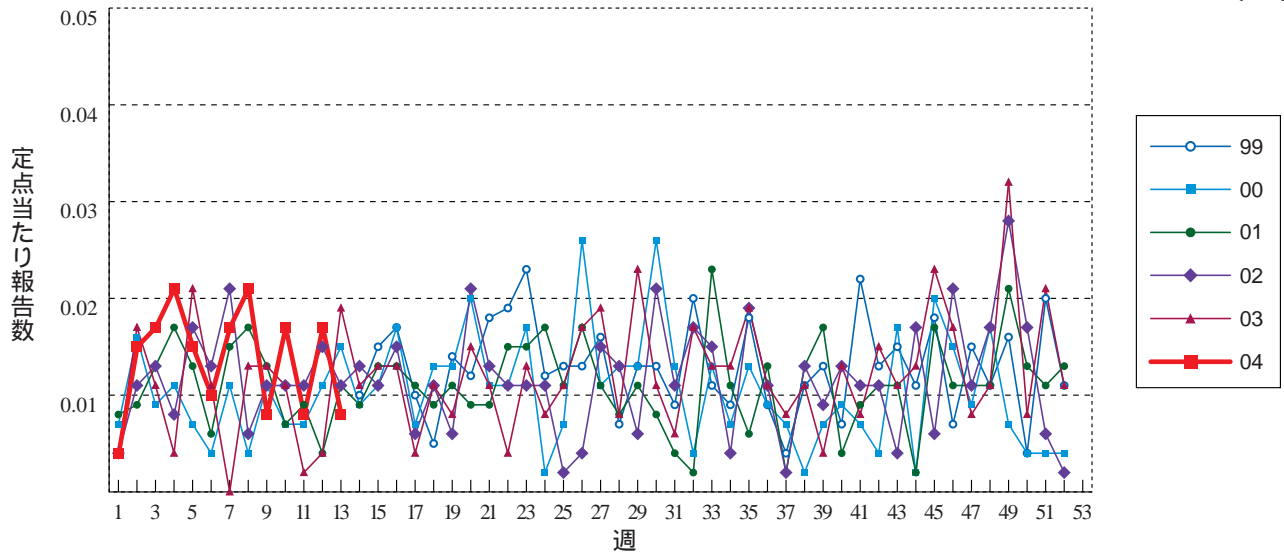


流行性角結膜炎



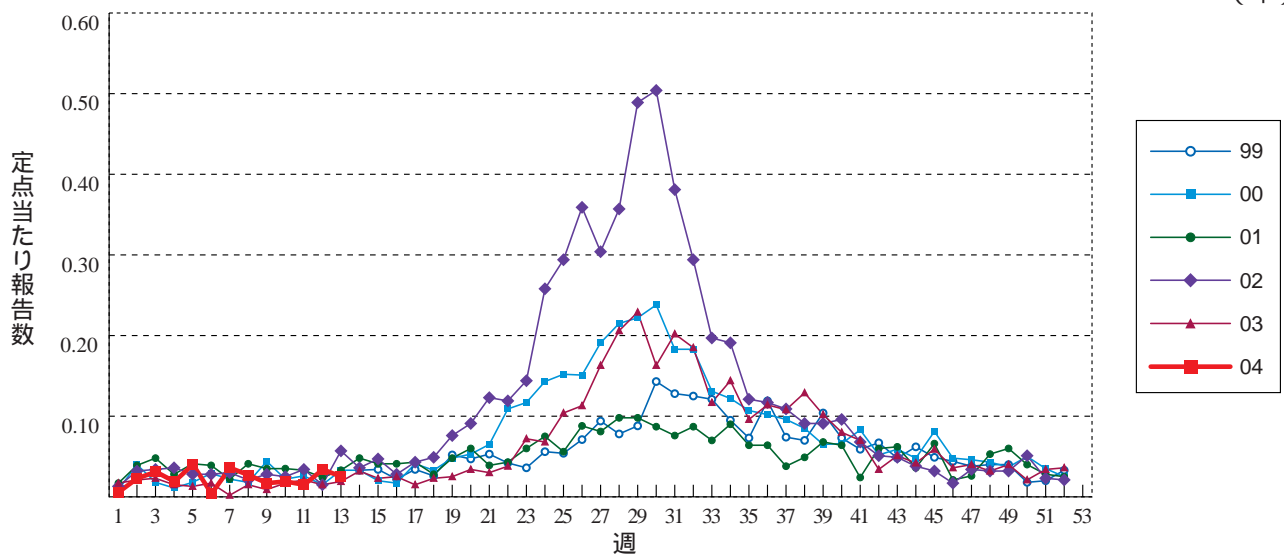
細菌性髄膜炎

(年)



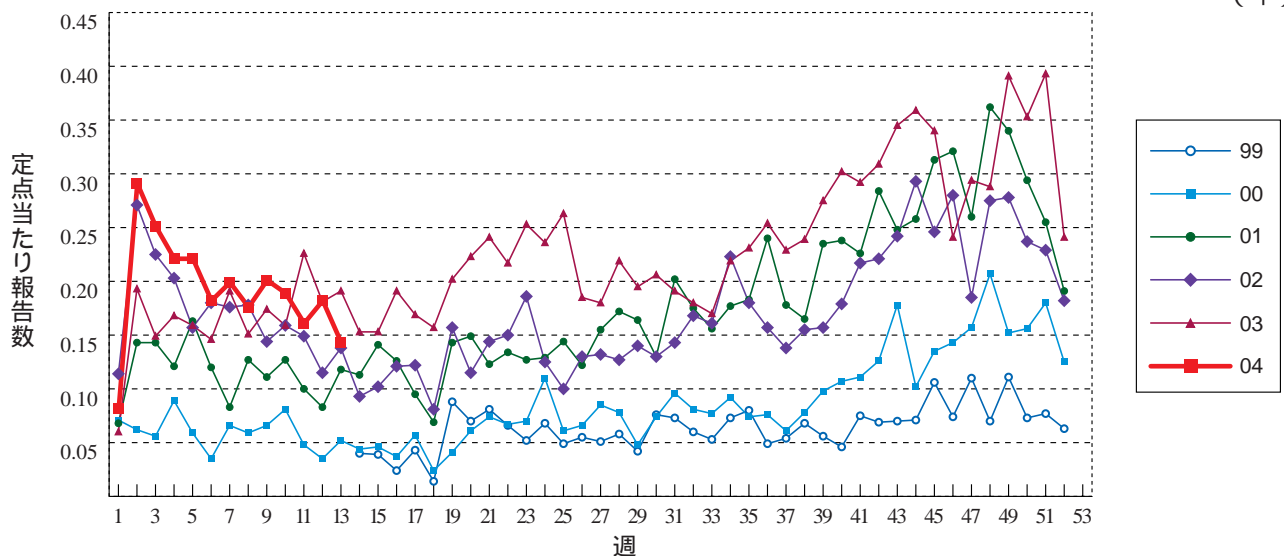
無菌性髄膜炎

(年)



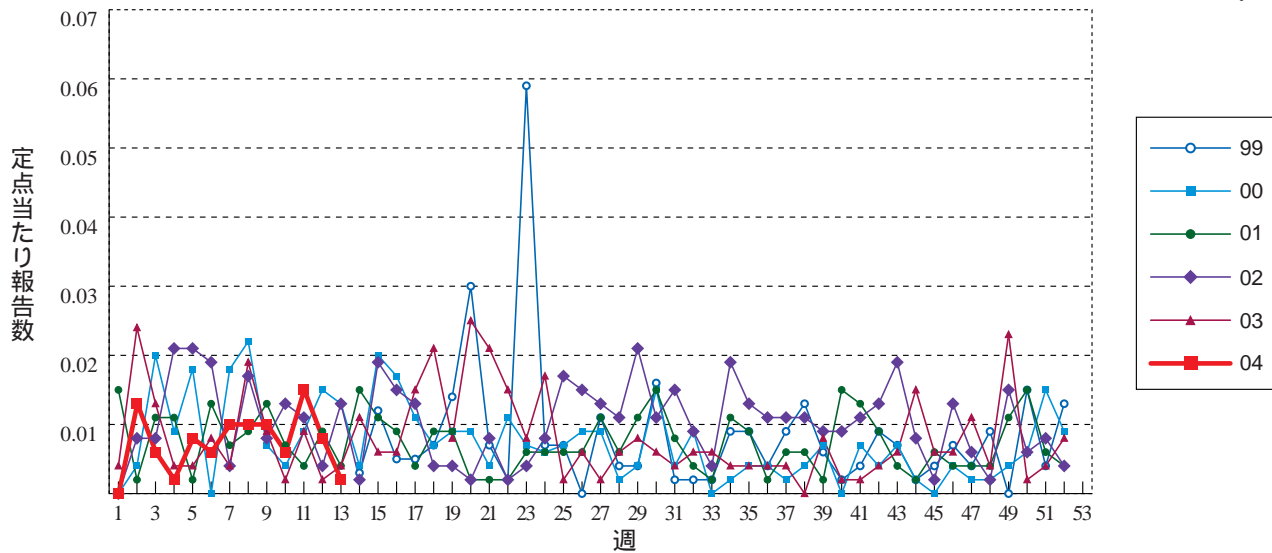
マイコプラズマ肺炎

(年)



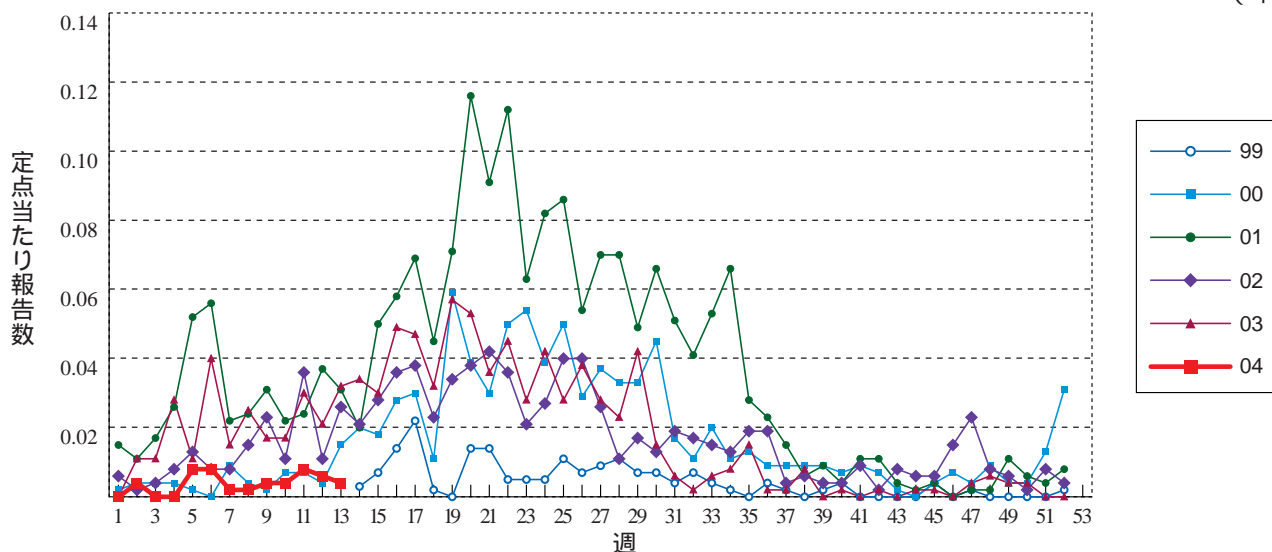
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





13週のデータ

注)表中の報告数は4月2日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年13週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	9	81	1	5	3	6	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	1	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	1	1	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	24	-	1	-	1	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	1	1	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	2	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年13週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	17	104	7	128	-	9	-	-	-	6	-	-	2	57
北海道	-	-	-	-	1	3	-	4	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	2	5	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	1	18	3	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	1	1	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	3	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	4	11	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
兵庫県	-	-	-	-	1	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
岡山県	-	-	-	-	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年13週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	1	3	40	-	12	4	202	-	1	-	13	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	3	76	-	-	-	4	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	14	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	26	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年13週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	7	-	2	-	-	2	49	-	4	-	-	-	-	4	107	-	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
茨城県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	2	-	1	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	1	15	-	1
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	7	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年13週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	1	1	-	24
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	2
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年13週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	6	-	-	3	47	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年13週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年13週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	5584	1.19	824	0.27	6301	2.07	27733	9.12	6461	2.12	165	0.05	1103	0.36	2022	0.66	28	0.01
北海道	756	3.35	49	0.34	348	2.43	456	3.19	251	1.76	13	0.09	40	0.28	93	0.65	1	0.01
青森県	124	1.94	7	0.17	72	1.71	193	4.60	82	1.95	1	0.02	13	0.31	24	0.57	-	-
岩手県	55	0.89	1	0.03	72	1.89	99	2.61	68	1.79	1	0.03	18	0.47	16	0.42	1	0.03
宮城県	74	0.81	13	0.22	238	4.03	503	8.53	125	2.12	1	0.02	41	0.69	63	1.07	-	-
秋田県	119	2.16	2	0.06	114	3.26	183	5.23	59	1.69	5	0.14	-	-	18	0.51	-	-
山形県	61	1.27	8	0.27	162	5.40	274	9.13	43	1.43	-	-	36	1.20	32	1.07	-	-
福島県	105	1.31	15	0.31	98	2.04	538	11.21	64	1.33	-	-	12	0.25	40	0.83	-	-
茨城県	39	0.34	15	0.20	334	4.51	406	5.49	131	1.77	-	-	5	0.07	26	0.35	-	-
栃木県	33	0.47	3	0.07	74	1.61	365	7.93	63	1.37	1	0.02	8	0.17	25	0.54	1	0.02
群馬県	58	0.58	6	0.10	144	2.32	469	7.56	73	1.18	9	0.15	26	0.42	38	0.61	-	-
埼玉県	80	0.32	30	0.19	508	3.24	1855	11.82	313	1.99	3	0.02	80	0.51	101	0.64	2	0.01
千葉県	54	0.26	37	0.28	312	2.40	1261	9.70	402	3.09	9	0.07	79	0.61	102	0.78	4	0.03
東京都	39	0.22	12	0.08	159	1.12	843	5.94	155	1.09	2	0.01	52	0.37	54	0.38	2	0.01
神奈川県	92	0.27	76	0.37	361	1.75	1782	8.65	467	2.27	2	0.01	117	0.57	164	0.80	-	-
新潟県	173	1.75	28	0.47	444	7.40	643	10.72	165	2.75	4	0.07	99	1.65	45	0.75	1	0.02
富山県	61	1.27	31	1.07	172	5.93	363	12.52	105	3.62	1	0.03	5	0.17	23	0.79	1	0.03
石川県	76	1.58	6	0.21	64	2.21	383	13.21	58	2.00	22	0.76	26	0.90	11	0.38	1	0.03
福井県	108	3.38	7	0.32	107	4.86	349	15.86	57	2.59	2	0.09	15	0.68	17	0.77	1	0.05
山梨県	3	0.07	-	-	71	2.84	122	4.88	31	1.24	-	-	3	0.12	8	0.32	-	-
長野県	111	1.28	8	0.15	106	1.93	536	9.75	57	1.04	-	-	20	0.36	39	0.71	-	-
岐阜県	112	1.33	29	0.55	79	1.49	356	6.72	102	1.92	2	0.04	12	0.23	29	0.55	-	-
静岡県	83	0.61	14	0.16	101	1.17	923	10.73	258	3.00	2	0.02	34	0.40	59	0.69	-	-
愛知県	324	1.66	60	0.33	262	1.44	1342	7.37	307	1.69	14	0.08	78	0.43	102	0.56	3	0.02
三重県	49	0.67	18	0.40	114	2.53	613	13.62	77	1.71	-	-	11	0.24	58	1.29	-	-
滋賀県	58	1.14	2	0.06	64	1.94	282	8.55	44	1.33	1	0.03	4	0.12	20	0.61	-	-
京都府	50	0.40	3	0.04	102	1.34	717	9.43	85	1.12	2	0.03	6	0.08	39	0.51	-	-
大阪府	89	0.30	27	0.14	212	1.09	1478	7.58	298	1.53	6	0.03	45	0.23	96	0.49	1	0.01
兵庫県	201	1.02	31	0.24	151	1.18	1444	11.28	352	2.75	23	0.18	43	0.34	84	0.66	3	0.02
奈良県	26	0.47	13	0.37	21	0.60	411	11.74	65	1.86	1	0.03	5	0.14	17	0.49	1	0.03
和歌山県	30	0.60	11	0.35	18	0.58	345	11.13	52	1.68	1	0.03	10	0.32	23	0.74	-	-
鳥取県	17	0.59	19	1.00	95	5.00	222	11.68	45	2.37	2	0.11	3	0.16	23	1.21	-	-
島根県	50	1.32	10	0.43	25	1.09	165	7.17	41	1.78	-	-	1	0.04	15	0.65	-	-
岡山県	55	0.65	6	0.11	41	0.76	544	10.07	97	1.80	-	-	8	0.15	27	0.50	1	0.02
広島県	218	1.82	38	0.51	92	1.23	1054	14.05	112	1.49	1	0.01	26	0.35	50	0.67	2	0.03
山口県	224	3.20	30	0.61	102	2.08	602	12.29	119	2.43	1	0.02	1	0.02	40	0.82	-	-
徳島県	8	0.21	17	0.74	34	1.48	257	11.17	46	2.00	2	0.09	5	0.22	19	0.83	-	-
香川県	27	0.53	10	0.31	28	0.88	215	6.72	91	2.84	-	-	6	0.19	21	0.66	-	-
愛媛県	62	0.97	8	0.21	100	2.56	458	11.74	153	3.92	-	-	9	0.23	32	0.82	-	-
高知県	51	1.04	5	0.16	66	2.13	248	8.00	77	2.48	1	0.03	1	0.03	17	0.55	-	-
福岡県	448	2.26	16	0.13	314	2.62	1541	12.84	298	2.48	10	0.08	30	0.25	102	0.85	-	-
佐賀県	59	1.51	4	0.17	37	1.61	379	16.48	97	4.22	4	0.17	1	0.04	16	0.70	-	-
長崎県	178	2.54	18	0.41	39	0.89	384	8.73	102	2.32	2	0.05	8	0.18	24	0.55	-	-
熊本県	128	1.58	11	0.22	84	1.71	532	10.86	150	3.06	5	0.10	5	0.10	48	0.98	-	-
大分県	328	5.66	4	0.11	58	1.61	638	17.72	57	1.58	-	-	28	0.78	33	0.92	-	-
宮崎県	163	2.76	46	1.28	47	1.31	467	12.97	162	4.50	-	-	15	0.42	34	0.94	-	-
鹿児島県	164	1.71	20	0.34	38	0.66	433	7.47	276	4.76	3	0.05	7	0.12	39	0.67	2	0.03
沖縄県	161	2.78	-	-	17	0.50	60	1.76	129	3.79	6	0.18	6	0.18	16	0.47	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年13週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	194	0.06	108	0.04	41	0.01	2138	0.70	19	0.03	591	0.93	4	0.01	12	0.03	68	0.14
北海道	-	-	2	0.01	-	-	110	0.77	-	-	29	1.00	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	-	-	1	0.02	23	0.55	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	8	0.21	-	-	11	0.29	-	-	12	1.00	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	8	0.14	2	0.03	2	0.03	28	0.47	-	-	4	0.36	-	-	-	-	4	0.33
秋田県	-	-	-	-	-	-	7	0.20	-	-	3	0.43	-	-	-	-	3	0.43
山形県	-	-	-	-	-	-	6	0.20	-	-	5	0.63	-	-	1	0.10	7	0.70
福島県	3	0.06	3	0.06	1	0.02	16	0.33	-	-	13	1.08	-	-	-	-	2	0.29
茨城県	1	0.01	-	-	1	0.01	13	0.18	-	-	42	2.63	-	-	-	-	8	0.73
栃木県	8	0.17	-	-	1	0.02	3	0.07	-	-	23	1.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	35	0.56	2	0.03	-	-	84	1.35	-	-	31	2.21	1	0.10	1	0.10	2	0.20
埼玉県	32	0.20	4	0.03	2	0.01	169	1.08	1	0.03	20	0.54	-	-	-	-	-	-
千葉県	8	0.06	4	0.03	1	0.01	101	0.78	3	0.09	44	1.29	1	0.08	-	-	-	-
東京都	9	0.06	1	0.01	6	0.04	29	0.20	-	-	21	1.50	-	-	-	-	3	0.12
神奈川県	12	0.06	4	0.02	4	0.02	134	0.65	-	-	36	0.86	-	-	-	-	-	-
新潟県	7	0.12	3	0.05	1	0.02	64	1.07	-	-	10	1.11	-	-	-	-	5	0.42
富山県	-	-	1	0.03	-	-	24	0.83	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	2	0.07	-	-	4	0.14	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	1	0.05	10	0.45	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	0.04	-	-	5	1.67	-	-	-	-	2	0.20
長野県	2	0.04	-	-	-	-	11	0.20	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	0.02	-	-	53	1.00	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	1	0.01	-	-	87	1.01	-	-	6	0.30	-	-	1	0.10	2	0.20
愛知県	1	0.01	2	0.01	3	0.02	218	1.20	2	0.06	28	0.80	-	-	1	0.08	2	0.15
三重県	-	-	3	0.07	-	-	13	0.29	-	-	8	0.67	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	1	0.03	-	-	-	-	6	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.14
京都府	3	0.04	1	0.01	2	0.03	37	0.49	-	-	7	0.37	-	-	-	-	-	-
大阪府	6	0.03	6	0.03	5	0.03	146	0.75	3	0.06	27	0.55	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	-	-	6	0.05	7	0.05	152	1.19	-	-	22	0.63	-	-	1	0.08	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	15	0.43	-	-	2	0.22	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	4	0.13	-	-	32	1.03	-	-	2	0.50	-	-	2	0.18	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	4	0.21	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	4	0.17	-	-	19	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	21	0.39	1	0.08	15	1.25	-	-	-	-	4	0.80
広島県	-	-	13	0.17	-	-	43	0.57	3	0.15	29	1.45	-	-	1	0.05	5	0.24
山口県	-	-	-	-	1	0.02	119	2.43	-	-	10	1.11	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	1	0.04	1	0.04	6	0.26	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.06	-	-	11	0.34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	14	0.36	1	0.14	12	1.71	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	0.03	-	-	30	0.97	-	-	4	1.33	-	-	-	-	3	0.33
福岡県	10	0.08	4	0.03	-	-	160	1.33	-	-	26	1.00	-	-	2	0.13	2	0.13
佐賀県	-	-	-	-	-	-	31	1.35	-	-	2	0.50	-	-	-	-	3	0.50
長崎県	1	0.02	3	0.07	-	-	14	0.32	4	0.50	4	0.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	10	0.20	-	-	19	0.39	-	-	10	1.11	-	-	1	0.07	1	0.07
大分県	15	0.42	2	0.06	1	0.03	13	0.36	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	1	0.03	-	-	11	0.31	-	-	10	2.50	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	28	0.48	5	0.09	-	-	12	0.21	1	0.14	13	1.86	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	-	-	4	0.12	-	-	24	2.40	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年13週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	1	0.00	2	0.00	76
北海道	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	4
東京都	1	0.04	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	11
新潟県	-	-	1	0.08	2
富山県	-	-	-	-	...
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	6
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	5
兵庫県	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	...
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	6
高知県	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	1	0.07	6
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第13号 平成16年4月9日発行
発行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。